

2023年5月1日
第563号
(毎月1日発行)

咲いたネット
URL：
http://www.saitanet.or.jp
Eメール：
saita@saitanet.or.jp



発行所
埼玉県労働組合連合会
〒330-0063
埼玉県さいたま市浦和区高砂
3-10-11 第一木村ビル
TEL 048-838-0771
FAX 048-838-0775
編集発行人
埼玉県労働組合連合会
【定価】1部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

久しぶりの1日開催



久しぶりの1日開催
沿って経験と教訓を報告しまし



討論の様子 (本庄児玉地労連)

選出されました。
役員補充選挙では、自治労連の西口哲之さんが副議長に

ました。
当日は15単産・22地域組織の評議員63人が参加し、第1号議案の「年度前半の活動の到達と教訓、後半の重点となるとりくみ」を賛成多数で可

した。
今年度の評議会は、新型コロナウイルス感染症対策に留意しながらも現地参加の1日開催とし、コロナ禍以前のスタイルに戻しての評議会となりました。

た。
各組織の討論では、18組織から発言があり、JMITUは23春闘での奮闘、所沢地区労は春闘要求を市役所に提出と職場の経営者要請やスト支援、郵政産業ユニオンは、郵

ました。
討論を受けての総括答弁では、評議会で提案された年度後半の運動をすすめ、改憲阻止のとりくみや最賃闘争など、中心となる運動を組織強化・拡大につなげ、とりわけ労働組合の世代継承を進めていくための「次世代対策」は喫緊の課題であることをあらためて共通認識とし、とりくみを前にすすめていくことが確認されました。

語られた教訓を力に年度後半で前進を
埼労連が第50回評議会を開催



今年は争議団紹介も

* 紙面から *

- 第50回評議会 (1面)
- 埼玉労働局要請 (2面)
- 23春闘、各職場のたたかい (3面)
- 理研労ストライキ (4面)
- 新任式宣伝 (5面)
- 埼労共のページ (8面)

埼労連と女性部が懇談

23春闘労働局要請

3月30日(木)に、23春闘期の労働局への要請行動を行い約45分間の懇談をおこないました。

「働き方改革関連法」に基づく時間外労働の上限規制など、法の趣旨に乗った正しい運用と手続きについて、県内の事業場に対して徹底を図ること。安心して働くことのできる労働環境整備に向けて労働関係の相談を広く受け付けること。最低賃金を、全国一律で1500円に引き上げること。最低賃金引き上げを担保するための中小企業への支援策の拡充を監督官庁へ求めることなどについて要



要請書を提出

請し、意見交換を行いました。

はじめに要請項目についての回答があり、労働相談や個別紛争の件数、時間外労働での事業場への監督などについて具体的な数字で回答され、職員の増員については、新年度5人が増員されたことも報告されました。

埼労連からは、新島議長、藤田副議長、清宮非正規部会長、加藤幹事が参加しました。

女性部

埼労連女性部は3月30日(木)、埼玉労働局雇用環境・均等室要請と懇談を行いました。参加は足立女性部長、北村副部長、橋本常任委員、渋谷常任委員、舟橋常任委員、吉野埼労連幹事の6人、埼玉労働局雇用環境・均等室からは雇用環境改善・均等推進管理官など5人が対応しました。

要請内容は、①最賃1500円へ引き上げ、物価上昇による再改定、②労働局職員の増員、女性の相談窓口の拡充、③「パワーハラ



女性部の懇談

スメント防止措置義務」の周知と推進、④セクハラ等ハラスメント根絶推進、母性保護や妊娠出産の権利指導強化、⑤出生時育児休業制度(男性育児の促進)の周知・取得促進、⑥パートタイム・有期雇用労働者の労働条件向上、勤労待遇の法令周知、⑦女性活躍推進法の活用、⑧長時間労働の抑制、有給の取得促進指導、⑨高校生・大学生を対象にした労働者の管理を学ぶ機会の確保・促進です。

はたらく女性の埼玉集会実行委員会が集めた「コロナ禍・物価高アンケート」の結果も手渡し、女性の働き方、男性の育児取得は期間が短いこと、職場の人手不足の課題についても懇談しました。

第94回埼玉県中央メーデーを開催

5月1日(月)に、第94回埼玉県中央メーデーが北浦和公園で開催され、前夜祭なども含め県内各地で地域メーデーが行われました。

メーデーの起源は、1886年(明治19年)5月1日、アメリカ各地で8時間労働制を求め35万人がストライキに立ち上がったことに起因しています。12時間から14時間労働が当たり前だった当時、8時間は働き、8時間は休み、8時間は自由な時間」で暮らすことが働く者の大きな要求でした。

戦後最初のメーデーは敗戦翌年の1946年。敗戦の混乱で食料不足が深刻な折、「食料の人民管理、働けるだけ食わせろ」などが掲げられ、戦後メーデーの歴史は平和と民主主義を守る歩にもなりました。

1890年5月1日、再度ゼネラルストライキを構えたアメリカの労働者のたたかいにヨーロッパ各地の労働者が応え、世界的な労働者の祭典としてのメーデーが誕生しました。

1960年代半ばには「ベトナム反戦」、物価高騰からの生活擁護が掲げられ、1970年以降の、春闘での1万円超えの大幅賃上げ、1980年代以降には、核兵器廃絶や所得税減税、労働法制の改悪阻止、格差是正と貧困の解消など、その時々課題や政策要求が掲げられてきました。

(メーデーの詳細は次号掲載)

日本では「8時間労働時間制実現」や「失業防止」などの要求を掲げ、1920年(大正9年)5月2日に東京・上野公園で初めて開催されました。その後、メーデーは全国各地に広がりましたが、二・二六事件が起きた1936年



各職場でねばり強い交渉 23春闘・職場でのたたかい

J M I T U

J M I T U埼玉地本の23春闘は、異常な物価高騰のなかで、これまでとはまったく異なる情勢のもとでの春闘となりました。単産と地域との連携や国民総ぐるみの行動を展開し、春闘の事前要請行動や回答確約行動などにJ M I T Uの試算で出されたモデル家族での最低1万6000円の賃上げがないと生活するのが困難になることを訴え、埼玉連や各支部が加盟する地域労連・地区労の方々からの要請や訴えによって、会社や経営者にアピールすることができました。

その行動の積み重ねた結果、14支部・分会中、3月8日の初回答で3支部分会（大東工業大宮工場分会・村松フルーツ支部・東鋼業支部）で5桁回答を引き出し、2支部（日信工業支部・東京セキスイハイム支部）が昨年を上回る回答を引き出しました。各支部・分会は初回答で納得することなく、回答指定日の翌日3月9日に埼玉春闘共闘とともに第1次統一行動に決起、翌週の16日の第2次統一行動では第1次統一行動と同様にストや支部激励行動など相互に元気が出る行動となりました。

3月23日には第3次統一行動として屋内での決起集会を開催、埼玉連の宍戸事務局長を講師に招き、春闘を最後までたたかう元気を頂きました。今春闘では埼玉連の新島議長、宍戸事務局長、各地域労連・地区労の方々にはJ M I T U埼玉地本の急な要請に快く応えてくれて、ありがとうございませした。4月中旬になっても、まだ会社の回答に納得せず闘争が続いている支部もあります。最後まで諦めず、夏季一時金や来年の春闘につながる行動となるよう、みんなが頑張っていきましょう。

（J M I T U埼玉地本発）

全国一般

全労連・全国一般大宮電化支部は3年目の春闘にとりくみ、3月

31日（金）の団体交渉で1500円の上積みをかちとり、ベア1万1500円、定期昇給10000円の合計1万25000円で妥結しました。

23春闘にあたって、支部では年末から3万円の賃上げ要求を提出しましたが、会社側は3000円の低額回答でした。交渉を積み重ね5000円、8000円と回答を引き出してきましたが、もとも

と賃金が安いうえに、ここ2年は1万円を超す回答で妥結していたことから交渉を続け、3月24日にベア1万円、定昇10000円の回答まで上積みしましたが、昨年以下の金額であることからスト権を確立し、3月31日（金）の交渉に臨みました。

4月3日午前中のスト実施を構えての交渉の結果、ベア15000円をさらに積み上げ、ベア1万15000円になったらしいな」と署名をしてくれました。松本議長が、5月1日に朝霞中央公園で開催するメーデーへの参加と最低賃金を15000円にと訴えました。宣伝行動はティシユの受け取りもよく30分程度で配布しきり署名2筆集めて終了しました。

最賃15000円とメーデー参加訴え

北足立南部地区労は、4月18日（火）午後5時30分から北朝霞駅前ロータリーで、メーデー参加呼び込み宣伝と最低賃金宣伝を行いました。埼玉土建朝志和支部3人、新座支部3人、年金者組合朝霞支部1人、新座支部1人、新座市職1人、SUあさか2人、地区労1人の7団体12人が参加して300個のチラシ付きティシユ配布と、「最低賃金は15000円に」と訴えました。

恒例の赤い最賃Tシャツを着ての宣伝行動で、最低賃金の署名を呼びかけたら若いカップルが「1

5000円、定昇10000円で合計1万25000円、店長手当は2万円未満の店長は2万円、2万円の店長は2万5000円、パート社員は時給60円引き上げで最低時給を1070円との回答を引き出し妥結しました。



北朝霞駅前ロータリー

不当な雇い止めはゆるさない

北足立南部地区労

3月29日(水)午後1時から、化学研究所の雇い止め阻止を訴えて、北足立南部地区労に加盟する理研労が指名ストライキを実施し、ストライキ支援集会和光理

3月29日(水)午後1時から、化学研究所西口通用門で実施しました。支援集会には、北足立南部地区のほか、埼玉連、埼玉医労連、コープネットグループ労組、全労



ストライキに多くの仲間が結集

連・全国一般埼玉地区本、埼玉県国公、埼玉土建、年金者組合埼玉県本部など埼玉連加盟組織が参加した他、全労連から黒澤事務局長、伊藤常幹など33団体約100人の支援者が駆けつけました。

キ実施の経過と訴えを行い、雇い止め裁判原告3人の悲痛な訴えと29日に参加できなかった神戸事業所の原告2人についても金井委員長が報告しました。連帯のあいさつでは、黒澤・全労連事務局長、埼玉連加盟の各労組代表、神奈川から先日ストライキに決起し雇い止めを撤回させた東海大学教職員組合などが激励のスピーチをしました。1時間のストライキの最後に、北足立南部地区労・松本議長のシユプレヒコールで「理研は雇い止めを撤回しろ」「我々は理研が雇い止めを撤回するまで闘い続けるぞ」と訴えて集会は終了しました。スト集会には、うたごえ歌手としてあちこちの争議を支援している大熊啓さんも駆けつけてくれ、幕前に大阪市役所思想調査反対の闘いで作られた「心ひとつに」や国労差別のなかで作られた「未来をかけて」、「せかいをつなげ花の輪」とIBM解雇撤回の闘いで作詞作曲した「アイル・ビー」を歌って激励してくれました。(北足立南部地区労発)

全印総連東京地本は23春闘で印刷会社工場前宣伝を実施、3月24日から埼玉県内で3週連続宣伝をしました。3月24日(金)朝7時30分からの大日本印刷上福岡工場前と福岡駅前の宣伝には12人が参加、埼玉連から宍戸事務局長、地元・入間東部労連から竹内さんが参加してくれました。2カ所で800枚(うち工場前で130枚)の未組織宣伝ティッシュを配布することができました。3月31日(金)は大日本印刷蔵工場前と北戸田駅前宣伝、17人が参加し、埼玉連から諸井事務局次長、地元・蕨地区協から佐藤議長、肝付事務局長が参加してくれました。2カ所750枚(うち工場前で150枚)の未組織宣伝ティッシュを配布することができました。

4月7日(金)は午前8時から凸版印刷川口工場前宣伝を実施、12人が参加し、埼玉連から北村副議長に参加してもらいました。工場前で100枚の未組織宣伝ティッシュを配布することができました。同日昼は川口工場前で宣伝力1からの音出し宣伝をし、埼玉連から山崎幹事に参加してもらいました。川口工場の食堂棟に近い位置で埼玉土建川口支部から借りた宣伝カーで宣伝行動を行うことができました。こちらに手を振ってこたえる労働者もいるなど、反応がみられました。(全印総連発)

大日本印刷前



県内3ヶ所の工場前で宣伝

全印総連

新任式会場で宣伝(埼玉高教)

埼玉高教は4月4日(火)午前9時から10時30分まで、県立学校教職員新任式会場(埼玉会館)前で埼玉高教をお知らせして加入してもらう宣伝グッズ配布を17人が参加して行いました。

この宣伝は毎年埼玉高教が行っているもので、埼玉高教紹介リーフ、共済資料(全教共済)、埼玉高教・小澤委員長の手紙と加入届をセツトにして300セットを配布できました。

小澤委員長の手紙には、教職員

の生活と権利、平和で民主主義が大切にされる社会をつくることも

に、子ども・生徒たちの成長と発達を保障するための学びあいや教育条件整備を求める運動に取り組んでいること、子どもも教職員もいきいきとした学校づくりをすすめるためにも埼玉高教の仲間になりませんか、との呼びかけが掲載されています。

埼玉高教は新歓の拡大月間として4~5月に100人目標で取り組み、200回の集いを持つと奮

闘しています。すでに4月1日から5日までに66人の加入となっています。



埼玉会館前にて

学校給食の無償を求め宣伝

連絡会の宣伝に46人が参加

安心な地元農産物の活用と学校給食の無料化をめざす埼玉連絡会は、統一地方選挙公示日前の3月30日に、3回目の浦和駅宣伝行動を行いました。当日は数多く張りめぐらせたのぼり旗やプラスタ、横断幕で宣伝行動の内容が一目で伝わる宣伝となり、リレートークによる訴えを行いました。行動には46人が参加し、63筆の署名が寄せられ、大きく世論を喚起する宣伝行動になりました。

「統一地方選挙では大軍拡をすすめる岸田政権に審判を下し、『安全な地元農産物の活用』『学校給食の無償化』を掲げる候補者を議会に押し上げることも要求実現につながる道です」と呼びかけ、宣伝行動を終りました。

春休みということもあり子ども連れの保護者の方、ベビーカーを押しているお母さんや自転車通行人の方まで、駅前通行中の本当に多くの方が協力してくれました。関心の高さ、要求の強さを実感します。

食健連の柳さんは「安全な地元農産物の活用は日本の食料自給率を上げる有効な手立てです」と語り、生健会の加藤さ

地域も支援してストライキ

郵政産業労働者ユニオン埼玉支部は、物価高騰に見合わないベースアップに抗議し、3月17日(土)に上尾郵便局で組合員が1日のストライキに立ち上がりました。

日本郵政は、7年ぶりにベースアップを行いました。しかし、ベースアップは正規社員のみで、非正規雇用の社員は、ベアゼロの対応です。おまけに、夏期・冬期にそれぞれ3日ずつ与えられていた

地元の各組合が参加



特別休暇を1日ずつに削減し、賃上げの原資に当たるといふ回答となっており、労働条件の不利益変更につながるものです。

私たちが求める均等待遇とはかけ離れた内容に抗議し、ストライキの決行につながりました。関東各地の組合員をはじめ、地元・AOI労連のみなさんが激励に駆けつけて、上尾郵便局前のスト集会を行いました。

(郵政産業ユニオン埼玉支部発)

と語り、生健会の加藤さ



学校の現状をうったえ宣伝

労働委員会のあつせんも活用し、大幅賃上げと制度改善勝ちとる

戸田市立の小中学校18校に36人の学校校務員に携わる委託労働者が配置されています。そこに、自治労連戸田市学校校務員労働組合があります。

組合では、昨年6月に提出した要求書に掲げた要求事項の実現を求めて交渉してきました。組合側が情報公開請求をして入手した委託契約書の内容を分析して、賃上可能額なども示し対応を求めましたが、当局側はまともな説明もせず、他の項目についても、曖昧な対応に終始し、責任をもつて回答できる管理職が出席せず、交渉が進まなくなりました。

重点的な要求事項についての状況は以下のとおりでした。○賃金改善について、委託契約書から3万円を超える賃上げが可能なことが判明し、書から3万円を超える賃上げが可能であることを指摘しても、賃上げできない合理的な説明ができない。○職務上・健康上問題がなければ75歳まで雇用可能であると、労使合意しているのに明文化がされない。○学校校務員に適用される適正な就業規則がない。○1時間休むのに1日の休暇を出さなければならぬ。などの状況から、組合員会議で協議した結果、労働委員会あつせんを活用し要求実現をめざそうということになりました。2022年12月12日にあつせん申請し、1月31日に第1回あつせんを実施、重点要求である上記4点について前向きな姿勢がみられたものの、確実に解決の道筋をつけるため、2回目のあつせんも入れ、3月16日に第2回目のあつせんが実施されました。

社長と事務折衝をし、回答の内容をある程度固め、あつせん合意の準備をすすめました。

合意内容として、○賃金については、16万円の労働者は17万3000円に改定。15万6000円の労働者は16万6000円に改定。○75歳までの雇用ルールについては、この間の話し合いの到達を明文化する。5月までに労使協定を結ぶ方向とする。○就業規則について、10月いっぱい案を作成し、年内には正式なものにする。○年休の時間取得について、年間1日分を限度として、「緊急時」という条件で取得可能とする。

2回目のあつせん期日で、合意書締結するとともに、公益委員からは「責任をもって交渉に当たる者を出席させること、そうしたと不当労働行為にあたる」「採用時に組合加入を好まないと言言することは不当労働行為に当たる」ことなど、特別に発言をもらいました。現在この成果を手紙にして、市内すべての公務員に組合加入を呼びかけ、今のところ2人の加入につながっています。

国会行動埼玉デー

県民大運動実行委員会主催の国会行動埼玉デーが3月29日(水)午前10時30分から衆議院第2議員会館第1会議室で開催され、7団体52人が参加しました。

冒頭に、県民大運動代表委員の埼玉連・新島議長が、前日に大軍拡を盛り込んだ来年度予算が成立し、それに伴い様々な悪法が各委員会などで審議され始めることなど、国会情勢報告を兼ねてあいさつ。

新たな戦前を許すことなく、国民の世論と運動を広げて頑張ろうと呼びかけました。この日は、埼玉土建が大軍拡・大増税に反対する要請、マイナン



衆議院第2議員会館にて

受講しませんか！

第7期 埼労連ゼミ 受講募集！

単年度地域の次世代を含む幹部養成を目的に、埼労連が労働運動の必要となる基礎理論の集団学習をゼミ形式で主催し、基礎学習を基本とした役員養成と組織強化をローカルセンターの任務と位置付けて、2017年から取り組み7期目となります。1期ごと16名程度・意見交換などで単年度の拡大強化を進めていく予定です。「学習」は、運動実践の基礎となります。大いに学んで、スタッフアップを張りきりましょう！



基礎理論

- 第1期 基礎理論「1」を使った集団学習です。
- 講師は、埼労連の伊藤順朗(前議長)です。
- 講師のレジュメと資料も参考になります。
- 活動のテキストについてポイントを整理します。
- 受講料は12,000円(埼労連が3,000円を助成)
- 申込みは、5月12日(月)までにご案内へ 048-938-0771 saifu@valliant.or.jp

〒	〒
氏名	姓
E-mail	所属
教材送付先	役職

詳しくは埼労連まで

それまでの間で、(自治労連発)

組織強化・拡大のとりくみ

埼教組

埼教組は、4月から6月までが第一期加入促進月間です。組合員30人拡大を目標にしています。

この間、組合加入した皆さんが決意した理由は、様々です。

①青年部 Twitterのスペース（ラジオ機能）で興味を持ち、職場の組合員にあらがれて加入を決意。②昨年度、青年部の採用試験学習会に参加し、臨探で勤務していた職場同僚の組合員に助けももらったこともあり、新採用者として加入を決意。③昨年度、青年部採用試験学習会に参加。青年組合員にサポートしてもらったので、今年は講座のお手伝いをしたいと、新採用者として加入を決意。④昨年度まで埼高教の組合員。小学校に異動し埼教組への加入を迷っていたが、単組の歓迎を受け加入を決意。⑤新卒臨探者が支部の学習会に参加。加入の訴えを受けその場で加入を決意。

このように様々なつながりのなかで、教職員が加入を決意している。

ます。

本部からは、新採用者全員（1680人）に新歓グッズを送りました。それを見た人からの共済の加入申し込みもありました。

埼教組は、様々なチャンネルで未組合員の教職員とつながり、組合員拡大を進めています。（埼教組発）

埼玉県国公

埼玉県国公では、「減らさず増やす」を合い言葉に、4月新規採用者への100%組合加入をめざして各単組で奮闘しています。

全司法埼玉支部では、研修終了後に組合説明パンフレットなどを活用した組合説明会を開催し、その場で10人中6人が加入届にサインをしています。また、全労働埼玉支部でも研修後に組合説明資料を個人個人に手渡しし、その後、個別に組合加入を訴えて、現在30人中12人が加入しています。

国土交通労組関東建設支部では、新採者全員に組合説明資料や返信用封筒と加入用紙等を入れた

封筒を郵送し、関東全体で151人中6人から加入用紙が書記局に届いています。あわせて、Zoomを活用した組合説明会（4月中旬に支部は3回、本部は7回実施）のビラも配布しています。

これまでのオンライン説明会に、各職場からの集団視聴や新採者がスマホから視聴しており、その後、電話連絡で組合加入を訴えています。

封筒を郵送し、関東全体で151人中6人から加入用紙が書記局に届いています。あわせて、Zoomを活用した組合説明会（4月中旬に支部は3回、本部は7回実施）のビラも配布しています。

これまでもオンライン説明会に、各職場からの集団視聴や新採者がスマホから視聴しており、その後、電話連絡で組合加入を訴えています。

えています。

非正規ではたらく仲間への全国集会

非正規雇用労働者の要求実現を進め、組織を強化していくために『第31回ハート・派遣など非正規ではたらくなかまの全国交流集会in神奈川』が、6月3日（土）4日（日）の2日間で開催されます。今年も引き続きコロナ禍のため、現地参加とオンラインの併用となります。

まだ組合を知らない多くの非正規の仲間たちにも声をかけ、一緒に運動を進めていくための集会でもあります。各組織でも非正規労働者の処遇改善・組織化、労働法制改悪を阻止するとりくみの強化

が図られていると思いますが、運動を強化するために交流し学び合前の申し込みが必要です。

組織実増に向けて引き続き、新規採用者の100%加入めざして奮闘します。

（埼玉県国公発）

（埼玉県国公発）

（埼玉県国公発）

埼労連23春闘「速報」

活動レポート

第27号

2023年4月21日

すべての労働者を視野に仲間を求め、その力で向上げ勝ち取る権利に組合員の参加・結集はあり、組織を強化し、労働組合の真価を発揮しよう！

埼玉県国公が4月の新規採用拡大で目標中！

埼玉県国公では、「減らさず増やす」を合い言葉に、4月新規採用者への100%組合加入をめざして各単組で奮闘しています。

全司法埼玉支部では、研修終了後に組合説明パンフレットなどを活用した組合説明会を開催し、その場で10人中6人が加入届にサインをしています。また、全労働埼玉支部でも研修後に組合説明資料を個人個人に手渡しし、その後、個別に組合加入を訴えて、現在30人中12人が加入しています。

国土交通労組関東建設支部では、新採者全員に組合説明資料や返信用封筒と加入用紙等を入れた封筒を郵送し、関東全体で151人中6人から加入用紙が書記局に届いています。あわせて、Zoomを活用した組合説明会（4月中旬に支部は3回、本部は7回実施）のビラも配布しています。これまでのオンライン説明会に、各職場からの集団視聴や新採者がスマホから視聴しており、その後、電話連絡で組合加入を訴えています。引き続き、100%加入をめざして奮闘します。（埼玉県国公発）

全印連関東地区連の23春闘で県内の印刷工場前直登

全印連関東地区連は23春闘で大日本印刷会社工場前直登を実施。3月24日から埼玉県内で3箇所連続直登を行いました。大手印刷会社向け「集上」を改訂し印刷大手の買断で「のちろ」を納入した未組職権付テッシュを配布・宣伝しました。

3月24日（金）朝7時30分からの大日本印刷会社浦和工場前と土曜日の朝8時に12人が参加し、埼玉県浦和区から浦和区まで約800m（全工前直登130分）の未組職権付テッシュを配布することができました。

3月31日（金）は大日本印刷川口工場前直登を実施。12人が参加し、埼玉県から埼玉県浦和区まで約800m（全工前直登130分）の未組職権付テッシュを配布することができました。4月7日（金）は午前8時から印刷川口工場前直登を実施。12人が参加し、埼玉県から北村工場前直登に引き続き、工場前で100枚の未組職権付テッシュを配布することができました。同日朝8時30分からは川口工場の買断直登に引き続き埼玉県浦和区から浦和区まで約800m（全工前直登130分）の未組職権付テッシュを配布することができました。4月7日（金）は午前8時から印刷川口工場前直登を実施。12人が参加し、埼玉県から北村工場前直登に引き続き、工場前で100枚の未組職権付テッシュを配布することができました。同日朝8時30分からは川口工場の買断直登に引き続き埼玉県浦和区から浦和区まで約800m（全工前直登130分）の未組職権付テッシュを配布することができました。4月7日（金）は午前8時から印刷川口工場前直登を実施。12人が参加し、埼玉県から北村工場前直登に引き続き、工場前で100枚の未組職権付テッシュを配布することができました。同日朝8時30分からは川口工場の買断直登に引き続き埼玉県浦和区から浦和区まで約800m（全工前直登130分）の未組職権付テッシュを配布することができました。

格差のない社会をめざして！

みんなて手をつなぎ声をあげよう！

第31回 ハート・派遣などの非正規ではたらくなかまの全国交流集会in神奈川

日程

6/3 (1日) 全体会 13:00~16:30 (会場のみ入場チケットなし)

会場 神奈川県民ホール 大ホール オンライン併用

住所 横浜市中区山下町3-1

TEL 045-662-5901

最寄り駅 みなとみらい線日本大通り駅 徒歩約8分

※最寄り駅・市営地下鉄 日本大通り駅 徒歩約15分

6/4 (2日) 分科会・講座 9:30(9:00受付開始)~12:00(昼休憩)

会場ではマスク着用のご協力をお願いします。

参加申し込みは、または申込書所属の役員へお問い合わせください。詳細は以下のURLをご覧ください。

https://www.kanagawa.jp/

非正規全国集会神奈川実行委員会

〒231-0062 横浜市中区磯子区本町3-5 横浜市中区社会福祉センター 4階

TEL 045-212-5855 FAX 045-212-5745

https://www.kanagawa.jp/

非正規全国交流会 参加申し込み書

氏名	参加方法	目的	安全委員会	分科会・講座	その他
姓(姓) (姓) (姓)	参加方法	目的	安全委員会	分科会・講座	その他
連絡先 (電話番号)					
所属(所属)					

※申込書に記入しない場合は、(株)全印連関東地区連に直接申し込みください。お問い合わせ先は、全印連関東地区連 事務局 045-212-5855 FAX 045-212-5745 E-mail: head@krc.jp

5月の上映案内

5月の上映は「島守の塔」です。

太平洋戦争末期の沖縄を舞台に命や平和の尊さを描いた戦争ドラマで、絶望の淵に立たされたながらも「命こそ宝」と訴え、後世に希望を託した2人の人物と戦争で翻弄される沖縄の人々の姿を描き出しています。萩原聖人、吉岡里帆、香川京子らが出演。

- 日時 5月26日(金)
- ①10時30分〜12時50分
- ②14時〜16時20分
- ③18時30分〜20時50分



(各回、五十嵐匠監督の挨拶が予定されています)

場所 埼玉会館 小ホール
埼労共専用入場整理券の利用で900円でご覧いただけます。

お問い合わせは埼玉映文協
048-822-7428

青年劇場公演

時々の農政に振り回されてきた農家の苦勞を涙と笑いの中で描いてきた脚本家・高橋正園氏が農民作家・山下惣一の「農の明日へ」に想を得て、農、そして私たちの未来と希望を探る作品。

5月24日〜31日
東京・新宿「紀伊國屋ホール」
一般5500円

(前売り券・午後5200円、夜4500円)
お問い合わせは青年劇場まで
03-33352-7200



トルコ・シリア地震支援

2月6日に発生したトルコ・シリア地震では、約5万6000人が死亡し、今のなお250万人がテント暮らしを余儀なくされ生活再建には程遠い状況にあります。

被災者支援の募金は、すでに多くの方から協力をいただいております。埼労連としての取扱は5月26日までですので、期限までにお寄せください。

コロナ給付 特例措置終了

全労連共済のコロナ感染特例措置が終了します。

コロナ感染に関わって、民間保険等が昨年9月26日以降みなし入院を原則対象外とした中で不慮事故入院扱いとしていた特例対応について、感染法上の位置づけが2類から5類に引き下げられるために5月7日判明分までで特例措置を終了することとなりましたので、お知らせします。

詳しくは加盟組合の県本部または全労連共済まで。

平和の願いを歌にこめて！

第66回うたごえ祭典 in 埼玉のご案内

「戦争の準備ではなく、平和の準備を！」うたごえは平和の力。文化はエネルギーの源。

『第66回電通のうたごえ祭典 in 埼玉』が7月2日(日)に、さいたま市文化センター小ホールにおいて、14時30分開演で開催されます。



入場料は一般1500円です。詳しくは埼労連(山崎)まで
048-838-0771

フードバンク 第84便

ク活動を広く知らせ、ボランティア精神で、できる範囲で保存食品を組合員のみなさんに寄せてもらうよう呼びかけてください。

埼労連・4月のフードバンク活動は、埼高教やSUなどから寄せられた海苔やお茶などのギフトセットや缶詰類を第84便として、4月6日(木)にフードバンク埼玉に届けました。

4月から新年度になり、公務職場を中心に異動もあることから、各単産・地域組織のなかで、あらためて食品ロスをなくし、保存食品を必要としているみなさんに食料支援をする観点でのフードバン



フードバンク第84便